



網野賢一岩手工場工務部長（右）から定規を受け取る佐藤教育長

金ヶ崎町のトヨタ自動車東日本㈱岩手工場（佐野俊一工場長）から3月23日、「交通安全定規」が市に寄贈されました。この定規は、小学校の新入生が交通安全に取り組む一助にと同社が作成したもの。長さ20cmの定規の表と裏に、自転車運転の安全ルールと道路標識などが描かれています。

市内全27校960人分の定規を受け取った佐藤孝守教育長は「日常的に子どもたちが使うありがたい贈り物。子どもたちにも喜んでもらえることでしょう」と感謝の言葉を述べました。

## 【交通ルールが学べる定規を新入生にプレゼント】



自助・共助・互助の重要性を訴える越野教授

市は「地域ぐるみ防災セミナー」を3月7日、江刺総合支所で開催しました。東日本大震災から丸4年を前に、防災を再確認しようと自主防災組織や地区振興会の役員、消防団員など約200人が参加。前沢南地区防災会の活動事例発表のほか、岩手大学地域防災研究センターの越野修三教授が講演を行いました。

越野教授は「大災害からの教訓」と題し、過去の災害映像から検証結果などを解説。「地域の絆をしっかりと築き、家族ぐるみ、地域ぐるみの訓練が大切」と訴えました。

## 【過去の大災害から学ぶ教訓】



平成の大改修を終えた正法寺本堂

2市2町1村が合併し、18年2月20日に誕生した本市。同日午前8時から、市職員や市民など約200人が参加し、本庁正面玄関前で華やかに開会式が行われました。

## 【新たな未来に向け奥州市が誕生】

市旗掲揚に続き、式辞を述べたのは、佐々木秀康奥州市長職務執行者。テープカットの後にはくす玉が割られ、大きな期待の拍手に包まれながら、新市の誕生を祝いました。

日本一のかやぶき屋根として有名な正法寺の改修工事は、平成6年度に始まり、18年8月でその全てを終了しました。この工事は、寛政11年（1799年）の火災復興以来、約200年ぶりの大掛かりな工事。国の重要文化財で

よみがえる日本一のかやぶき屋根

ある本堂、庫裏、鐘楼堂、小方丈の修理が行われました。平成2年に、国的重要文化財として指定されていた正法寺。平成の大改修により、本堂などが往時の姿によみがえりました。

# 奥州市の10年

第1回（2009年版）

広報紙で振り返る



## 【10年の節目を迎える市民に聞く】



### profile

さとう・るり◎昭和62年、前沢区古城生まれ。水沢信用金庫前沢支店に勤務。4月に就職10年目を迎えた。中学・高校とバドミントンに打ち込み、今はショッピングが趣味。夫と2歳になる愛娘の3人家族

年月日	合併1年目の主な出来事
18. 2. 20	水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川村の5市町村が合併し、奥州市が誕生
3. 19	市長・市議会議員の選挙。初代奥州市長には相原正明氏が就任
4. 1	衣川、南股、北股の3小学校が閉校し、新生衣川小学校が開校
4. 6	メイプルガリニューアルオープン。地下に市民活動支援センターを開所
5. 20	市合併記念式典を挙行
5. 26	地域協議会委員を委嘱
7. 1	江刺北上川水辺の楽校をオープン
7. 9	農業委員選挙を実施。48人の委員が決まる
7. 10	市政懇談会をスタート
8. 27	焼石クアパークひめかゆが入館者300万人達成
8. 31	正法寺の改修工事が終了
9. 30～10. 10	兵庫国体ボウリング競技で木村聰さんが、ウエイトリフティング競技で三嶋平さんがそれぞれ優勝
10. 15	胆沢ダム建設工事定礎式
11. 7	黒滝温泉が入館者100万人達成
11. 19	岩手大学と相互友好協定を締結
12. 1～15	及川裕美さんがアジア大会自転車競技で銀メダル獲得
19. 1. 9	静岡県掛川市と災害時相互応援協定を締結
1. 21～23	秋篠宮さまが市内にご滞在



共同と地域の活性化について述べる酒井氏

市は「男女共同参画セミナー」を3月7日、11日の両日、江刺生涯学習センターと市民活動支援センター（メイプル地下）で開催しました。これは、男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野の活動に参画するきっかけにしてもらうことを目的に行つたものです。

11日のセミナーでは、㈱ファーメンスティーションの酒井里奈代表取締役が講演。経営者の視点から、女性が事業を行うことの難しさや楽しさを解説し、男女共同参画による今後の可能性を語りました。

## 【男女共同参画社会の実現に向けて】



小野寺署長から賞賛状を受け取り、事故防止に対する尽力を誓う小沢市長

市は、市内の交通事故ゼロ3ヶ月を3月19日に達成し、県警本部から賞賛状をいただきました。

市役所で20日に行われた伝達式では、沢警察署の小野寺勝善署長が小沢昌記市長に賞賛状を手渡し、「今後も事故の抑止を目指して協力いただきたい」とあいさつ。小沢市長は、式に出席した関係団体の代表者などに対し、「皆さんの協力があつて達成できた」と感謝の言葉を述べ、「全ての市民に対して意識啓発を図る」と無事故の継続へ気持ちを新たにしました。

## 【交通事故ゼロ3ヶ月を達成】